

令和8年度 シラバス

教 科	国語	科 目	論理国語	学年 学科 類型	2年 普通科 I 型
単位数	2	教科書	精選 論理国語(三省堂)		
副教材等	精選 論理国語 学習課題ノート(三省堂)				

学習の目標	1 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしましょう。 2 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしましょう。 3 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養いましょう。
学習の方法	・必要な情報を収集し活用しながら他者との対話を通して、深い理解を目指します。 ・教材の解釈や報告、発表などの言語活動を積極的に行うことを通して、自己の思いや考えを深めたり広げたりします。 ・言葉を通して他者や社会に関わり、読書に親しむことで自己の向上を目指します。

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学期	・論理国語へのいざない ・「情報社会」を生きる I ・環境問題を考える	・評論を読み、論理的批判的に考える力を伸ばします。 ・読み比べを通して、情報社会を生きる上で大切なことは何かを考え、自分の思いや考えを広げます。 ・環境問題について調べ、その成果をまとめる活動を通して、他者との関わりの中で伝え合う力を高めます。
2 学期	・言葉を見つめる I ・生命について考える ・芸術について考える	・様々な視点から言葉について論じる活動を通して、創造的に考える力を養います。 ・様々な観点から生命について考え、生命科学の可能性と課題についての自分の思いや考えを深めます。 ・芸術作品と想像力について考え、美術作品の紹介文を書く活動を通して、他者との関わりの中で伝え合う力を高めます。
3 学期	・科学技術と人間 ・「市民社会」について考える	・科学技術と人間について考え、論理的、批判的に考える力を伸ばします。 ・「市民社会」における権利や義務について考え、自分の思いや考えを広げたり深めたりします。

評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	「書くこと」、「読むこと」の2領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
評価方法	定期考査、課題、レポート、ノート、小テスト、発表、パフォーマンス評価、ポートフォリオ評価	定期考査、課題、レポート、ノート、小テスト、発表、パフォーマンス評価、ポートフォリオ評価	課題、レポート、ノート、小テスト、発表、パフォーマンス評価、ポートフォリオ評価

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

令和8年度 シラバス

教 科	国語	科 目	文学国語	学年 学科 類型	2年 普通科 I 型
単位数	2	教科書	文学国語(東京書籍)		
副教材等	文学国語 学習課題ノート(東京書籍)				

学習の目標	1 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしましょう。 2 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしましょう。 3 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養いましょう。
学習の方法	・必要な情報を収集し活用しながら他者との対話を通して、深い理解を目指します。 ・教材の解釈や報告、発表などの言語活動を積極的に行うことを通して、自己の思いや考えを深めたり広げたりします。 ・言葉を通して他者や社会に関わり、読書に親しむことで自己の向上を目指します。

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学期	I 部 ・随筆 ・小説1 ・評論1	・随筆につづられている筆者の感じ方や思いを読み取り、自分のものの見方を広げます。 ・小説に描かれた世界を味わい、そこに表された人間の在り方について考えを深めます。 ・評論に述べられた内容を的確に理解し、「言葉」の意義や特質について考えることを通して、我が国の言語文化に対する理解を深めます。
2 学期	I 部 ・小説2 ・詩歌 ・小説3	・小説を読み、そこに込められた寓意や描かれた人々の姿から、生きることへの自分の考えを深め、他者との関わりの中で伝え合う力を高めます。 ・詩や短歌と短歌に関する評論を読み、詩歌の表現の特色を理解して味わうことで、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養います。
3 学期	I 部 ・評論2 ・小説4	・具体例や引用と筆者の主張との関係に注意して評論を読み、文学の価値や意義について考えることで、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させる態度を養います。 ・物語の展開や状況の変化に注意して小説を読み、現代の社会や自らの生活を捉え直します。

評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	「書くこと」、「読むこと」の2領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
評価方法	定期考査、課題、レポート、ノート、小テスト、発表、パフォーマンス評価、ポートフォリオ評価	定期考査、課題、レポート、ノート、小テスト、発表、パフォーマンス評価、ポートフォリオ評価	課題、レポート、ノート、小テスト、発表、パフォーマンス評価、ポートフォリオ評価

- (備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

令和8年度 シラバス

教 科	国語	科 目	古典探究	学年 学科 類型	2年 普通科 I 型
単位数	2	教科書	高等学校 精選古典探究(第一学習社)		
副教材等	高等学校 精選古典探究 学習課題集(第一学習社)				

学習の目標	1 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにしましょう。 2 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしましょう。 3 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養いましょう。
学習の方法	- 必要な情報を収集し活用しながら他者との対話を通して、深い理解を目指します。 - 教材の解釈や報告、発表などの言語活動を積極的に行うことを通して、自己の思いや考えを深めたり広げたりします。 - 言葉を通して他者や社会に関わり、読書に親しむことで自己の向上を目指します。

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学期	- 古文編 説話(一) 随筆(一) 物語(一) - 漢文編 故事・寓話 古代の史話 名家の文章	- 二人の有名な歌人についての話し合い活動を通して、平安時代の古典常識や和歌について理解を深めます。 - 室町時代の随筆に見られる先人のものの見方や考え方を読み解く活動を通して、自分の考えを広げます。 - 貴族の生活と年中行事を調べまとめる活動を通して、我が国の伝統的な文化について理解を深めます。 - 友情に関する故事成語の由来を調べ、紹介し合う活動を通して、古典に親しみます。 - 読み比べ活動を通して、人物像とその考えを理解し、伝え合う力を高めます。
2 学期	- 古文編 随筆(二) 物語(二) 日記(一) - 漢文編 項羽と劉邦 漢詩の鑑賞	- 長編物語を読んで、人物造形や心理描写に触れ、我が国の言語文化に対する理解を深めます。 - 女性による日記文学作品を読み、先人のものの見方や考え方に触れ、自分の考えを広げたり深めたりします。 - 登場人物の描写を読み解くことを通して、戦乱の時代を生きた人々の人物像について考察を深めます。 - 漢詩の表現や技法への理解を深め、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを通して、自己の考えを広げ、伝え合う力を高めます。
3 学期	- 古文編 物語(三) 和歌・俳諧 - 漢文編 不思議な世界 諸家の思想	- 軍記物語を読んで、登場人物の行動とそれを支える思想や歴史的背景を理解し、自己の考えを深めます。 - 我が国の伝統文化の一つである和歌の表現の特色を理解し、先人のものの見方や感じ方、考え方を読み解く活動を通して、自分の考えを広げたり、深めたりします。 - 七夕伝説の由来の一つとなった説話を読み、古代中国の人々の想像力と天に対する考え方に触れ、豊かに想像する力を伸ばします。

評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
評価方法	定期考査、課題、レポート、ノート、小テスト、発表、パフォーマンス評価、ポートフォリオ評価	定期考査、課題、レポート、ノート、小テスト、発表、パフォーマンス評価、ポートフォリオ評価	課題、レポート、ノート、小テスト、発表、パフォーマンス評価、ポートフォリオ評価

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

令和8年度 シラバス

教 科	地理歴史	科 目	地理総合	学年 学科 類型	2年 普通科 I 型
単位数	2	教科書	高等学校 新地理総合(帝国書院)・新詳高等地図(帝国書院)		
副教材等	新詳地理資料 COMPLETE 2026(帝国書院)、地理総合・探究ワークブック2026(愛媛県高教研地理歴史・公民部会地理部門)、高等学校 新地理総合ノート(帝国書院)				

学習の目標	社会事象の地理的な見方・考え方を身に付け、課題を迫及したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に付けます。
学習の方法	- 教科書を基本教材としつつ、資料豊富な副教材も活用しながら学習内容の定着を図ります。 - 地図帳や作業地図などを活用して、自然環境、産業、人々の生活・文化、地球的課題などの特徴や分布状況を空間的な広がりの中で捉えていきます。

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学期	第1部 第1章 地図と地理情報システム 第2章 グローバル化する世界 第2部 第1章 生活文化の多様性と国際理解	- 身近にある様々な地図、GISやGPSの仕組み、情報を地図化する方法を学習します。 - 世界の国々が貿易、交通、観光などによってどのように結び付いているかを学習します。 - 人々の生活と地形、気候、宗教等の関連性を理解し、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性について学習します。
2 学期	第1章 生活文化の多様性と国際理解(2) 第2章 地球的課題と国際協力	- 人々の生活と地形、気候、宗教等の関連性を理解し、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性について学習します。 - 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題等を基に、地球的課題の解決について考えます。
3 学期	第3部 持続可能な地域づくり 第1章 自然環境と防災 第2章 地域調査	自然環境の特色と自然災害の関連性を理解し、地域社会で起こりうる自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察します。

評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	地理に関わる事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深めている。
評価方法	- 定期考査 - 小テスト	- 課題、レポート - 発表 - パフォーマンス評価	- ノート - ポートフォリオ評価

- (備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

令和8年度 シラバス

教科	地理歴史	科目	日本史探究	学年	学科	類型	2年	普通科Ⅰ型
単位数	3	教科書	日本史探究 詳説日本史 (山川出版社)					
副教材等	図説 日本史通覧2026年版 (帝国書院)、日本史探究 詳説日本史 授業用 整理ノート(山川出版社)、日本史 重要語句Check List (2026年度版) ノート付き (啓隆社)							

学習の目標	日本の歴史の展開を、地理的条件や世界の歴史と関連付けて考察させ、広い視野に立って理解し日本の伝統と文化の特色について認識を深めます。また、歴史的思考力を培い、日本人としての自覚と国際社会に主体的に生きる資質を養います。
学習の方法	日本の歴史の展開を、地理的条件や世界の歴史と関連付けて考察させ、広い視野に立って理解し日本の伝統と文化の特色について認識を深めます。また、歴史的思考力を培い、日本人としての自覚と国際社会に主体的に生きる資質を養います。

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学期	第1部 原始・古代 第1章 日本文化のあけぼの 第2章 古墳とヤマト政権 第3章 律令国家の形成 第4章 貴族政治の展開	・自然環境と人間生活との関わり、中国大陸・朝鮮半島などとの関係などに着目して、環境への適応と文化の形成について考察します。 ・貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の出現などを基に、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を考察します。
2 学期	第2部 中 世 第5章 院政と武士の躍進 第6章 武家政権の成立 第7章 武家社会の成長	・公武の関係の変化、宋・元などユーラシアとの交流と経済や文化への影響などに着目して、主題を設定し、中世の国家・社会の展開について考察します。 ・武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、地域権力の整理、社会の変容と文化の特色と理解する。
3 学期	第3部 近 世 第8章 近世の幕開け 第9章 幕藩体制の成立と展開 第10章 幕藩体制の動揺	・歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、近世の特色について多面的・多角的に考察します。 ・産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などを基に、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色について考察します。

評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を持っている。また、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。
評価 方 法	・定期考査、単元評価 ・レポート ・課題	・定期考査、単元評価 ・レポート ・ポートフォリオ評価・課題	・出席状況、行動の観察 ・パフォーマンス評価 ・課題

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

令和8年度 シラバス

教 科	地理歴史	科 目	世界史探究	学年 学科 類型	2年 普通科Ⅰ型
単位数	3	教科書	世界史探究 詳説世界史 (山川出版)		
副教材等	最新世界史図説タペストリー二十四訂版(帝国書院)、世界史探究詳説世界史授業用整理ノート(山川出版)、進研WINSTEP 世界史探究(ベネッセ)、世界史重要語句CheckList2026(啓隆社)、共通テスト実力トレーニング世界史(啓隆社)				

学習の目標	世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けて理解します。文化の多様性・複合性と現代社会の特質を広い視野から考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養います。
学習の方法	・歴史的事項について、歴史の流れや同時代史的な横のつながりの把握や歴史的意義の理解が大切です。単に暗記しようとせず、授業を集中して受けましょう。 ・家庭学習では復習に重点を置き、資料集も活用する習慣を身に付けましょう。

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学期	第Ⅰ部 諸地域の歴史的特質の形成 第1章 文明の成立と古代文明の特質 第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成	・各地の「古代文明」や中央ユーラシア・東西アジアの相互関係、オリエントやギリシア・ローマのつながり、西アジアとヨーロッパの相互関係などについて、多様な事象を項目ごとに整理したり、類似的または対照的な性格の地域・国を比較したりして考察します。
2 学期	第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 第Ⅱ部 諸地域の交流・再編 第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向 第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開 第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 第9章 大交易・大交流の時代	・イスラームが各地に与えた影響など、討論、論述でより深く考察していきます。 ・東ヨーロッパの動向、西ヨーロッパの封建社会の成立・発展について学び、ヨーロッパ世界の特質について考察します。 ・同時代性に着目した主題を設定し、世界史を空間的なつながりに着目して整理し、表現する技能を習得します。
3 学期	第10章 アジアの諸帝国の繁栄 第11章 近世ヨーロッパ世界の動向	・16世紀から18世紀までのアジア諸地域の特質について学び、その中での日本の位置付けを理解します。 ・アジアの交易が世界に与えた影響について考察します。 ・主権国家および主権国家体制の成立について、それまでのヨーロッパの状況と比較した上で理解します。 ・ルネサンスとの比較を踏まえて、科学革命が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現します。

評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解している。諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。国家及び社会の形成者として、より良い社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。
評価方法	・定期考査、単元評価 ・小テスト ・レポート ・課題	・定期考査、単元評価 ・レポート ・ポートフォリオ評価 ・課題	・出席状況、行動の観察 ・小テスト ・パフォーマンス評価 ・課題

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

令和8年度 シラバス

教 科	数 学	科 目	数学Ⅱ・B	学 年 学 科 類 型	2年 普通科 I 型
単位数	5	教科書	高等学校 数学Ⅱ（数研出版）・高等学校 数学B（数研出版）		
副教材等	新課程 クリアー 数学Ⅱ＋B＋C(数研出版)、新課程 チャート式 解法と演習 数学Ⅱ＋B＋C(数研出版)				

学習の目標	基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てます。そして、それを達成するために、学力の伸長を図ります。
学習の方法	- 教科書と並行して、教科書傍用問題集「4プロセス」で演習を行います。予習・復習を徹底するとともに、疑問点の解消に向けて努力してください。 - 学習課題は必ず行い、提出物は期限までに必ず提出してください。

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学期	数学Ⅱ 第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円 第3節 軌跡と領域 数学Ⅱ 第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理	- 座標や式を用いて直線の方程式などについて学習します。 - 座標や式を用いて円の方程式などについて学習します。 - 座標や式を用いて軌跡や領域を表す方法について学習します。 - 角の概念を一般角まで拡張して三角関数について学習します。 - 三角関数の加法定理について学習します。
2 学期	数学Ⅱ 第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数 数学B 第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列 第2節 いろいろな数列 第3節 漸化式と数学的帰納法 数学B 第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 第2節 統計的な推測	- 指数関数について学習します。 - 対数関数について学習します。 - 等差数列と等比数列について学習します。 - いろいろな数列について学習します。 - 漸化式と数学的帰納法について学習します。 - 確率変数と確率分布について学習します。 - 区間推定及び仮説検定の方法について学習します。
3 学期	数学Ⅱ 第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化 第3節 積分法	- 微分の考えについて学習します。 - 関数の増減と極大・極小について学習します。 - 積分の考えについて学習します。

評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	関数関係や離散的な変化の規則性に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたり、問題解決の過程を振り返って考察を深め、評価・改善したりしようとしている。
評価方法	- 定期考査、小テスト - 発表 - 課題プリント - ノート	- 定期考査、小テスト - 発表 - 課題プリント - ノート	- 取組状況観察 - 発表 - 課題プリント - ノート

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

令和8年度 シラバス

教 科	理 科	科 目	地学基礎	学年 学科 類型	2年 普通科 I 型
単位数	2	教科書	改訂版 高等学校 地学基礎(啓林館)		
副教材等	地学学習帳(愛媛県高等学校教育研究会理科部会)・三訂版ニューステージ地学図表(浜島書店)・センサー地学基礎(啓林館)				

学習の目標	1 身の回りにある自然の事物の観察や、発生する自然現象について考察します。 2 地学を通して、身の回りの自然現象を科学的に思考する態度や自然環境の保全に寄与する姿勢を身に付けます。
学習の方法	・授業中は教科書の内容だけでなく、資料集に掲載されている図や表から、頭の中で地学現象のメカニズムを3次元でイメージすることが大切です。 ・家庭学習では副教材を用いて基礎知識を定着させ、授業内容をさらに理解できるように心掛けてください。

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学期	第1部 固体地球とその活動 第1章 地球 第2章 活動する地球	・固体地球の大きさや内部構造などについて、観測・計測データを用いて、考察し、理解を深めます。 ・地球表面で生じる地震活動や火山活動を、地球内部での対流運動やプレートテクトニクスと関連付けて学習し、理解を深めます。また、火成岩の分類について、実験を交えて学習します。
2 学期	第2部 大気と海洋 第1章 大気の構造 第2章 太陽放射と大気・海水の運動 第3章 日本の天気 第3部 移り変わる地球 第1章 地球の誕生	・大気圏の構造や水と気象現象のかかわりについて、実験を交えながら学習することによって理解を深めるとともに、実験の技能を身に付けます。 ・地球規模で生じる気象現象について、地球のエネルギー収支を踏まえて学習することによって、理解を深めます。 ・日本の天気について、これまで学習した水と気象現象の関わりやエネルギー収支を交えながら学習することで理解を深めます。 ・宇宙や地球の誕生について、時間的、空間的スケールの違いを念頭に置きながら学習することによって、理解を深めます。
3 学期	第3部 移り変わる地球 第2章 地球と生命の進化 第3章 地球史の読み方 第4部 自然との共生	・地上の環境の変化や生物の進化について、地層中の堆積構造や化石などから推定する思考力を養うとともに、先史時代と現在のつながりを理解します。 ・これまで学習した内容を念頭に置き、これからの自分の生活において、学習した内容をどのように活用していくのかを考えます。

評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	地学に関わる諸現象や形成される地形や地質などについて、複数の視点から内容を捉え、理解するとともに、諸資料を効果的に調べたり、実験を行ったりする技能を身に付けている。	地学に関わる諸現象や形成される地形や地質などについて、その現象の原理や地形・地質などの成因を、複数の視点から理解・考察したり、実験の結果を他者が理解しやすいように適切にまとめ、表現することができる。	地学に関わる諸現象や形成される地形や地質などについて、自身の生活に生かし、活用しようとする態度を身に付けている。また、学習活動全般において、課題を確実に提出したり、教員の指示をよく聞いて活動することができる。
評価方法	定期考査 パフォーマンス評価 課題	定期考査 パフォーマンス評価 課題	定期考査 パフォーマンス評価 課題

- (備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
4 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

令和8年度 シラバス

教 科	理 科	科 目	生物探究	学年 学科 類型	2年 普通科 I 型
単位数	1	教科書	改訂版 生物基礎（数研出版）		
副教材等	・スクエア最新図説生物neo(第一学習社)・三訂版リードα 生物基礎(数研出版)・生物基礎・生物実験ノート(愛媛県高等学校研究会理科部会編)				

学習の目標	1 実験・実習や科学史研究を通して、「生物基礎」の内容を深く探究します。 2 探究をする過程について学び、科学的な方法を習得します。
学習の方法	・「生物」の教科書や資料集等を用いて、生命現象のしくみを理解することが大切です。また、問題集を繰り返し解くことで、知識を定着させることも大切です。 ・観察・実験では、結果に対して、なぜそうなるのかを深く思考し、考察することを心掛けてください。

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学期	1 生態学入門 (1)生態系の保全 (2)探究活動	・南予地域の気候やバイオーム、外来生物や生物多様性について学習し、さらに野外学習を通じて地域の生態系の保全について体験的に学習します。 【探究活動】植生調査 【探究活動】生態系の保全に関するディスカッション
2 学期	2 生物化学入門 (1)代謝 (2)探究活動 3 分子生物学入門 (1)遺伝情報とDNA (2)探究活動	・生物基礎で学んだ内容を発展させ、専門的な学問分野の基礎的内容について、観察・実験を行いながら探究的に学習します。 【探究活動】緑葉中の色素の分離 【探究活動】DNAの抽出
3 学期	4 生理学入門 (1)病気と生理 (2)探究活動	・生理学の基礎となる恒常性や免疫について、医学的な側面から学習します。解剖実習を通じて、臓器の成り立ちや組織の機能について理解を深めます。 【探究活動】ブタの腎臓の観察

評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとするとともに、生命を尊重して自然環境保全に貢献しようとしている。
評価方法	観察・実験の観察、発表、実験ノート、行動の観察、課題プリント、授業ノート、定期考査	観察・実験の観察、発表、実験ノート、行動の観察、課題プリント、授業ノート、定期考査	観察・実験の観察、発表、実験ノート、行動の観察、課題プリント、授業ノート

- (備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
5 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

令和8年度 シラバス

教 科	保健体育	科 目	体 育	学年 学科 類型	2年 普通科 I 型
単位数	2	教科書	現代高等保健体育(大修館)		
副教材等	現代高等保健体育ノート				

学習の目標	1 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けます。 2 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える力を養います。 3 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養います。
学習の方法	・体づくり運動、球技・武道(選択)、ダンス・陸上競技(選択)を通して、自分で課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習活動を通して、心と体を一体としてとらえ生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育みます。 ・体育理論では、スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展について学びます。

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学期	・体づくり運動 ・選択1 (球技【ソフトボール・バレーボール・テニス・バドミントン】・武道)	・体ほぐしの運動を通して体を動かすことの楽しさや心地よさを味わい、心と体が互いに影響し変化することを学びます。 ・球技では、各選択種目で特有の技能の基礎・基本を習得し、仲間と連携する楽しさを味わい、次の学年で高いレベルのゲームができるようになります。 ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切にし、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。
2 学期	・体づくり運動 ・選択2 (球技【サッカー・バスケットボール・テニス・バドミントン】・武道) ・体育理論	・実生活に生かす運動の計画では、各自のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立てて取り組むことを学びます。 ・球技では、各選択種目で特有の技能の基礎・基本を習得し、仲間と連携する楽しさを味わい、次の学年で高いレベルのゲームができるようになります。 ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切にし、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。 ・技能と体力の関係や練習のしかたについて学習します。
3 学期	・陸上競技(長距離走) ・選択3 (球技【サッカー・バスケットボール・テニス・バドミントン】・武道) ・体育理論	・長距離走では、自分と向き合い努力すること、粘り強く相手と競り合う強い心を養うことを目標とします。また、ペース配分をしたり、ペースの変化に対応したりするなど主体的に取り組むことができるようになります。 ・運動の合理的な動きを理解し、必要な体力をトレーニングによって向上させることで、運動やスポーツを生涯にわたって継続していくための基礎を学びます。

評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。
評価方法	・パフォーマンス評価 ・小テスト	・課題レポート ・小テスト	・出席状況 ・行動の観察

令和8年度 シラバス

教 科	保健体育	科 目	保 健	学年 学科 類型	2年 普通科 I 型
単位数	1	教科書	現代高等保健体育(大修館)		
副教材等	現代高等保健体育ノート				

学習の目標	1 個人および社会生活における健康・安全について理解を深めます。 2 生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を身に付けます。
学習の方法	現代社会は、生活習慣病や薬物、心の問題など健康にかかわる問題が少なくありません。また、健康のとらえ方や健康のために望まれることも変化してきました。そこで現代の健康問題や新しい健康のあり方について、課題学習などを取り入れながら主体的に学習します。

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学期	III 生涯を通じる健康 01 ライフステージと健康 02 思春期と健康 03 性意識と性行動の選択 04 妊娠・出産と健康 05 避妊法と人工妊娠中絶 06 結婚と健康 07 中高年期と健康	・ライフステージと健康の関連について学習します ・思春期における体の変化や心の発達にかかわって起こる問題について学習します。 ・性意識の男女差について学習します。 ・妊娠・出産の過程における健康課題や妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスについて学習します。 ・家族計画の意義と適切な避妊法や人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について学習します。 ・心身の発達と結婚生活の関係や結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動を学習します。 ・加齢にともなう心身の変化や高齢社会に必要な社会的な取り組みについて学習します。
2 学期	08 働くことと健康 09 労働災害と健康 10 健康的な職業生活 IV 健康を支える環境づくり 01 大気汚染と健康 02 水質汚濁、土壌汚染と健康 03 環境と健康にかかわる対策 04 ごみ処理と上下水道の整備	・働くことの意義と健康とのかかわりや働き方や働く人の健康問題の変化について学習します。 ・労働災害の種類とその原因や労働災害を防止するために必要なことについて学習します。 ・職場がおこなう健康に関する取り組みや余暇を積極的にとることの意義について学習します。 ・大気汚染の原因と健康への影響や大気にかかわる地球規模の健康問題について学習します。 ・水質汚濁、土壌汚染の原因や複合的な環境汚染の発生のしくみについて学習します。 ・環境汚染による健康被害を防ぐ方法や産業廃棄物の処理について学習します。 ・ごみの処理の現状や上下水道のしくみと健康にかかわる課題について学習します。
3 学期	05 食品の安全性 06 食品衛生にかかわる活動 07 保健サービスとその活用 08 医療サービスとその活用 09 医薬品の制度とその活用 10 様々な保健活動や社会的対策 11 健康に関する環境づくりと社会参加	・食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割や食品の安全性を確保するための個人の役割について学習します。 ・保健行政の役割や保健サービスの活用の例について学習します。 ・わが国における医療保険のしくみについて学習します。 ・さまざまな医療機関の役割について学習します。 ・医薬品の正しい使用法や医薬品の安全性を守る取り組みについて学習します。 ・国際機関・民間機関などの保健活動や行政機関による社会的対策について学習します。 ・健康の保持増進のための環境づくりや環境づくりへの主体的な参加が自他の健康づくりにつながることを学習します。

評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。
評価方法	・定期考査、小テスト ・パフォーマンス評価	・定期考査、小テスト ・レポート ・パフォーマンス評価	・ノート ・出席状況 ・行動の観察

(備考) 1,2学期の定期考査は,期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。

令和8年度 シラバス

教 科	芸 術	科 目	音楽Ⅱ	学年 学科 類型	2年 普通科 I 型
単位数	1	教科書	MOUSA2(教育芸術社)		
副教材等					

学習の目標	1 1年次の学習内容に継続し、表現力や想像力をさらに伸ばします。 2 これまでの知識、技術及び経験を基に、主体的で個性的な表現を追求します。 3 鑑賞活動を通して、他者の考えを尊重し、自分の考えを適切に表現します。
学習の方法	・外国語歌曲の歌唱等、音楽Ⅰまでの音楽の授業より難易度の高い内容です。授業での楽曲や演奏方法に関する説明をよく聞き、理解して演奏してください。 ・楽典と鑑賞の授業では、音楽の基礎的な知識を理解し、丁寧に楽譜を記入したり、音楽を深く味わって聴いたりしてください。

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学期	1 歌唱 校歌、イタリア・ドイツ歌曲 ポピュラー・ソング 2 鑑賞 古典派	・曲の背景や歌詞の内容を理解し、イメージを持って歌います。 ・外国語歌曲の発音を学びながら諸外国の文化を理解し、表現を工夫して歌います。 ・声や楽器の音色の特徴と表現上の効果を感じ取りながら鑑賞します。 ・楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲者の特徴を理解して鑑賞します。
2 学期	1 歌唱 ポピュラー・ソング ミュージカル音楽 2 器楽 クラシック・ギター弾き語り	・曲の背景や歌詞の内容を理解し、イメージを持って歌います。 ・楽曲が歌われる場面をイメージし、表現を工夫して歌います。 ・楽器の奏法を理解し、弾き語りをします。 ・楽器の音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏します。
3 学期	1 器楽 ヴァイオリン 2 歌唱 合唱、卒業の歌	・ヴァイオリンに触れ、西洋の文化的・歴史的背景や特徴を理解します。 ・ヴァイオリンの基本的奏法を習得し、表現を工夫して演奏します。 ・曲の背景や歌詞の内容を理解し、イメージを持って歌います。 ・合唱の響きを味わいながら、表現を工夫して歌います。

評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。
評価方法	・行動の観察 ・実技テスト ・小テスト ・ワークシート	・行動の観察 ・実技テスト ・小テスト ・ワークシート	・行動の観察 ・出席状況 ・実技テスト

(備考) ギターとヴァイオリンについては、選択者全員で使用します。丁寧に扱い、授業後は整理整頓に努めてください。

令和8年度 シラバス

教 科	芸術	科 目	美術Ⅱ	学年 学科 類型	2年 普通科Ⅰ型
単位数	1	教科書	美術2（光村図書）		
副教材等					

学習の目標	1 1年次の学習内容に継続し、表現力や想像力をさらに伸ばします。 2 これまでの知識、技術及び経験を基に、主体的で個性的な表現を追求します。 3 鑑賞活動を通して、他者の考えを尊重し、自分の考えを適切に表現します。
学習の方法	・すべての表現活動において、主にアクリル絵の具を使用します。 ・絵画、デザイン、立体造形、鑑賞、それぞれの学習項目の中に、美術を学習する上で大切な基礎となる内容が入ってきます。

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学期	1 住まいをデザインする 2 アニメーションの歴史	・建築家 隈研吾の作品を鑑賞し、建築への考え方やデザインの工夫を学びます。 ・透視図法を学習し、自分が理想とする部屋を設計し、形になる面白さを味わいます。 ・アニメーションの仕組みを理解し、6面で展開するノマキューブにアニメーションを制作します。 ・方眼工作用紙で立方体を作り、組み立てることでノマキューブの構造を理解します。
2 学期	3 風景を撮影する	・日本美術や日本の伝統文化についての理解を深めるとともに、日本独特の絵画様式について学びます。 ・自分が好きな風景を撮影し、金屏風の中に構成します。 ・日本画の特徴を踏まえながら着色します。
3 学期	4 抽象への誘い	・抽象絵画とそれらを描いた作家について知り、作品に込められた意図や工夫を感じ取ります。 ・偶然できた色や形から着想する描画法など、具象作品とは異なる表現方法で作品を制作します。

評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができる。	造形的なよさや美しさ、表現意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めることができる。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を身に付けている。
評価方法	・行動の観察 ・実技 ・作品 ・小テスト	・行動の観察 ・実技 ・作品 ・レポート	・行動の観察 ・出席状況 ・制作状況 ・作品の提出

（備考） 美術室の道具類は、美術選択者全員で使用します。丁寧に扱い、授業後は整理整頓に心掛けましょう。

令和8年度 シラバス

教 科	芸 術	科 目	書道Ⅱ	学年 学科 類型	2年普通科Ⅰ型
単位数	1	教科書	書道Ⅱ（東京書籍）		
副教材等					

学習の目標	1 様々な書体の古典を勉強し、古典の美に触れ、感性を磨きます。 2 古典を臨書し、様々な書体を書くための技術を身に付けます。 3 日常生活に即した、整った字の書き方を学びます。
学習の方法	・古典の臨書や分析を通して、技術や観察力を学びます。 ・作品の概要や古典の書法を学び、作品への理解を深めます。 ・古典で学習した内容を、創作活動に活用します。

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学期	1 楷書	・1年次で学習した知識を基に、より発展的な楷書の古典作品を臨書します。 ・書風や用筆法を学習し、作品による筆法の違いを学びます。 ・より発展的な行書作品を臨書し、表現の幅を広げます。 ・時代によって異なる書風を鑑賞し、臨書に生かします。
	2 行書	
2 学期	3 草書	・字の崩し方の原理を学習し、流動する用筆美を味わいます。 ・書体の特徴を理解し、書風や用筆法を学習します。 ・古典作品のそれぞれの特徴をとらえて、臨書します。 ・時代によって異なる書風を鑑賞し、臨書に生かします。
	4 隷書・篆刻	
3 学期	5 仮名	・古典の特徴をとらえて、流動する仮名独特の用筆美を味わいます。 ・短歌や俳句などを、古典から集字しながら創作します。 ・今までに学習した臨書作品を基に、創作します。
	6 創作(仮名) 7 創作(漢字仮名交じり)	

評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	書の表現方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美しさを感じ深くとらえたりすることができるようになる。	主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
評価方法	・作品 ・小テスト	・ワークシート ・作品	・表現活動への取組 ・ワークシート ・提出物

(備考)

令和8年度 シラバス

教 科	外国語	科 目	英語コミュニケーションⅡ	学 年 学 科 類 型	2年 普通科 I 型
単位数	4	教科書	ELEMENT English Communication Ⅱ (啓林館)		
副教材等	Vision Quest総合英語 Ultimate 2nd Edition、 Vision Quest New English Grammar 47 WORKBOOK、英単語ターゲット1900、UPGRADE英文法・語法問題				

学習の目標	1 英語を理解し英語で表現しようとする、コミュニケーションへの積極的な態度を養います。 2 英語を読んだり聞いたりしたことに対する自分の感想をまとまりのある英文で表現できる理解力と表現力を習得します。 3 基本的な構文や文法、語彙を習得します。CEFRのB1以上の取得を目標とします。
学習の方法	・授業は、教科書の文章を読んでおくことが前提になります。授業中の言語活動に参加できるよう、音読と大まかな内容把握をした上で授業に臨みましょう。自分の力で取り組む習慣を継続しましょう。 ・英語を読んだり聞いたりしたときや英語で自分の意見を表現するときに、分からないことがあれば、辞書や文法書を利用して、自分で調べるようにしましょう。

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学期	Lesson 1 Cultures around the World Lesson 2 Power of Words Lesson 3 Preconception	・The Culture Mapを読んで概要や詳細を理解し、情報を事実と意見に整理します。 ・形式目的語のit、対応する能動態を持たない受動態を用いた文の構造を理解します。 ・Stay Hungry, Stay Foolishを読んで概要や詳細を理解し、行間を読みます。 ・複合関係代名詞、be動詞＋to不定詞を用いた文の構造を理解します。 ・How Did Pink Become a “Girl’s Color” in America?を読んで概要や詳細を理解し、情報を事実と意見に整理します。 ・付帯状況のwith、the＋比較級～、the＋比較級…を用いた文の構造を理解します。
2 学期	Lesson 4 The Century of War Lesson 5 How Our Minds Work Lesson 6 IT and Life	・Life in a Jarを読んで概要や詳細を理解し、行間を読みます。 ・さまざまな分詞構文、完了形の分詞構文を用いた文の構造を理解します。 ・Predictably Irrationalを読んで概要や詳細を理解し、情報を事実と意見に整理します。 ・itを用いた強調構文、助動詞＋have＋過去分詞を用いた文の構造を理解します。 ・A Long Way Homeを読んで概要や詳細を理解し、行間を読みます。 ・倒置、関係副詞の非限定用法を用いた文の構造を理解します。
3 学期	Lesson 7 Advances in Medical Technology Lesson 8 A Tiny Step, a Big Impact	・Putting iPS Cells into Practiceを読んで概要や詳細を理解し、情報を事実と意見に整理します。 ・that節をとる名詞、未来進行形を用いた文の構造を理解します。 ・How We Got to Now with Glassを読んで概要や詳細を理解し、情報を事実と意見に整理します。 ・whatを用いた強調、複合関係副詞を用いた文の構造を理解します。

評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価方法	定期考査、パフォーマンステスト、小テスト	定期考査、パフォーマンステスト、レポート課題	言語活動への参加状況、パフォーマンステスト

- (備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

令和8年度 シラバス

教 科	外国語	科 目	論理・表現Ⅱ	学年 学科 類型	2年 普通科 I 型
単位数	2	教科書	Vision Quest English Logic and Expression Ⅱ Ace(啓林館)		
副教材等	Vision Quest総合英語 Ultimate 2nd Edition、 New Vision Quest English Grammar 47 WORKBOOK、英単語ターゲット1900、UPGRADE 英文法・語法問題				

学習の目標	1 英語で表現しようとする、コミュニケーションへの積極的な態度を養います。 2 より高度な表現や構文・文法を習得し、英文の内容や相手の意図を正しく理解し、自分の考えを効果的に表現できる英語力を身に付けます。 3 CEFRのB1以上の取得を目標とします。
学習の方法	・授業は、教科書の練習問題などを解答しておくことが前提になります。授業中の言語活動に参加できるよう、自分の力で解答する習慣を継続しましょう。 ・英語を読んだり聞いたりしたときや自分の意見を表現するときに、分からないことがあれば、辞書や文法書を利用して、自分で調べてみるようにしましょう。

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学 期	Lesson 1 What is your future goal? Lesson 2 What school events do you have? Lesson 3 Who is the best athlete? Lesson 4 Is social media safe?	・子供の理想の仕事について書かれた文章を読んで、適切な主語の使い方を理解します。 ・学校で新しい友達を作る方法について書かれた文書を読んで、適切な動詞の使い分けについて理解します。 ・スポーツの歴史について書かれた文章を読んで、時を表す表現の概念を理解します。 ・ソーシャルメディアの使用で気を付けるべき点について書かれた文章を読んで、様々な助動詞の概念と文の構造を理解します。
2 学 期	Lesson 5 How does overusing energy affect us? Lesson 6 What are some culture differences? Lesson 7 Do all Japanese people need to speak English? Lesson 8 Is Japan open enough? Lesson 9 What if you were rich? Lesson 10 How might AI affect our lives?	・エネルギーの使い過ぎについて書かれた文章を読んで、名詞を修飾して情報を追加する様々な文の構造を理解します。 ・異文化理解の重要性について書かれた文章を読んで、関係詞によって情報が追加された文の構造を理解します。 ・第二か国語や外国語としての英語について書かれた文章を読んで、語句や文を修飾して情報を追加する様々な文の構造を理解します。 ・日本の社会の問題点について書かれた文章を読んで、直接話法と間接話法を用いて表した文の構造を理解します。 ・もし億万長者になったら、何をするかについて書かれた文章を読んで、仮定の概念と文の構造を理解します。 ・AIと共存する方法について書かれた文章を読んで、数量を表す表現の概念と文の構造を理解します。
3 学 期	Lesson 11 What is a healthy life? Lesson 12 What is important when we sell chocolate?	・健康とストレスについて書かれた文章を読んで、比較を表す表現を用いた文の構造を理解します。 ・商品の販売について書かれた文章を読んで、否定を表す表現を用いた文の構造を理解します。

評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価 方 法	定期考査、パフォーマンステスト、小テスト	定期考査、パフォーマンステスト、レポート課題	言語活動への参加状況、パフォーマンステスト

- (備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

令和8年度 シラバス

教科	家庭	科目	家庭科探究	学年 学科 類型	2年 普通科 I 型
単位数	1	教科書	最新版 楽しく学べるマナーの基本（教育図書）		
副教材等	家庭科ノート・調理実習ノート基礎編（愛媛県家庭科教育研究会）				

学習の目標	1 生活文化の継承と創造に主体的かつ協働的に取り組みます。 2 家庭や地域の生活課題を合理的かつ創造的に解決する力を習得します。 3 生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を養います。
学習の方法	・日常生活の充実向上のために必要な実践力が身に付くよう学習してください。 ・実習中は技術の習得とともに、コミュニケーションをとって協力するよう心がけてください。

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学期	第1章 好感度アップのポイント	・家庭や学校、地域など、私たちの生活を支えている人々と良好な関係を保ち、気持ちよく生活するための心構えを身に付けます。
	第2章 外出先でのマナー	・公共交通機関でのマナーや訪問先での振る舞いについて学習します。 ・実習を交えながら和室や和菓子など日本文化への関心を高めます。
	第3章 食事のマナー	・体験的な学習を通して、正しい箸の使い方や和食、フランス料理、中国料理におけるマナーなどについて、理解を深めます。
2 学期	第4章 書き方のマナー	・手紙やはがき、封筒の正しい書き方や時候の挨拶、国際郵便の書き方を習得し理解を深めます。
	第5章 人生の節目のしきたり	・慶事と弔事のマナーを理解し、ふくさの扱い方や風呂敷の包み方、活用方法など体験的に学習します。
	第6章 社会人としてのマナー	・社会に出て企業や組織で仕事をするときに必要な電話対応や名刺交換などのマナーを身に付けます。
3 学期	第7章 日本の年中行事	・季節の訪れを感じ、日本の伝統文化や代表的な年中行事などについて学習し、生活文化への理解を深めます。
	第8章 国際人としてのマナー	・国際社会でコミュニケーションをとるために、自分自身を理解してもらうこと、相手を理解し尊重することの重要性を理解します。 ・日本の伝統文化の紹介方法について考えます。

評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	地域や家庭の生活習慣を充実向上させるためのマナーの役割を理解し、関連する技術を身に付けている。	地域や家庭の生活習慣やしきたりに関する課題を発見し、生活文化の継承と創造を担う生活人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	生活の充実向上を目指して自ら学び、生活文化の継承と創造に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
評価方法	小テスト、実技テスト ノート、ワークシート、発表	小テスト、実習、課題 ノート、ワークシート、発表	ノート、行動観察、実習 課題、出席状況、発表

- （備考） 1 1,2学期に実技テストを行う。
 2 実習教科のため実習を重視した評価を行う。

令和8年度 シラバス

教 科	情 報	科 目	情 報 I	学年	学科	類 型	2 年	普通科・理数科
単位数	2	教科書	情報 I ADVANCED（日本文教出版）					
副教材等	情報 I ADVANCED 問題演習ノート（日本文教出版）、ライフイズテック レッスン（ライフイズテック社）							

学習の目標	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を身に付けます。
学習の方法	・情報を適切に活用するために、必要な知識と技術を確実に習得できるように、教科書と並行して、問題集「情報 I ADVANCED 問題演習ノート」で演習を行います。 ・学習課題は必ず行い、提出物は期限までに必ず提出してください。

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学期	1 章 情報社会の問題解決 2 章 メディアとコミュニケーション 3 章 情報デザイン 4 章 情報のデジタル化	問題を発見・解決するための一連の流れを理解します。 知的財産について学習します。 情報社会で生活していくための情報モラルを理解します。 情報技術と生活の変化について理解します。 各種メディアの特性を理解します。 ネットワークの匿名性と記録性について学習します。 情報デザインの抽象化、可視化、構造化を理解します。 機能的なデザイン上の工夫について学習します。 2進法、10進法、16進法について学習します。 文字のデジタル表現について学習します。 標準化周期の標準化周波数について学習します。
2 学期	4 章 情報のデジタル化 5 章 コンピュータのしくみ 6 章 アルゴリズムとプログラミング 7 章 モデル化とシミュレーション 8 章 情報通信ネットワーク	データの圧縮について学習します。 デジタルデータのプラス面とマイナス面を理解します。 コンピュータ処理の基本的な回路と演算の仕方について学習します。 アルゴリズムの表現方法について学習します。 プログラムについて学習します。 モデル化の手法とモデルをもとにしたシミュレーションについて学習します。 情報通信ネットワークについて学習します。
3 学期	9 章 情報システム 10 章 データの活用	情報システムの信頼性について学習します。 データベースについて学習します。 データを可視化する方法を学習します。 相関関係と因果関係について学習します。

評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。
評価方法	・定期考査、小テスト ・発表 ・課題プリント ・ノート	・定期考査、小テスト ・発表 ・課題プリント ・ノート	・取組状況観察 ・発表 ・課題プリント ・ノート

- （備考） 1 定期考査は1学期末、2学期中間・期末、学年末の計4回実施する。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

令和8年度 シラバス

教 科	S S	科 目	グローバル探究Ⅰ	学年 学科 類型	2年 普通科Ⅰ型
単位数	1	教科書	本校で作成したプリントおよび資料		
副教材等	本校で作成したプリントおよび資料				

学習の目標	「STREAM探究基礎」で学んだ研究のための基礎的な知識・技能を生かし、オープンデータ等を活用した課題研究を行うことでデータ利活用力を身に付けます。
学習の方法	・RESAS、e-Stat、行政や自治体のオープンデータ等の様々なビッグデータの中から必要な情報を選択、比較する統計分析を通じて、課題発見能力やデータを活用する力を身に付けます。 ・大学と連携しながらデータ利活用における具体例な課題について学びます。また、ディスカッションを通じて研究を深める方法を考えていきます。

学期	単 元	学習活動とねらい
1 学期	1 データサイエンス講演会	・大学と連携しながらデータの読み取り方や実践的なデータ利活用に関する課題について学び、分析・話し合いを通じて解決方法について考えていきます。 ・RESAS、e-Statや行政、自治体のオープンデータや地理情報システム（GIS）を活用しながら地域産業、地域医療、地域観光等について現状を理解することで、課題を発見する力を身に付けていきます。
	2 課題研究①	
2 学期	3 課題研究中間報告会	・2学期中旬までの研究成果をポスターにまとめて発表します。他の生徒や教員からの助言に加え、校外の専門家からの指導助言を受け、今後の研究の方針に改善を加えていきます。 ・課題解決に向けたフィールドワークや統計分析による考察、図や表、グラフの作成を通じて、論理的に考える力を高めていきます。
	4 課題研究②	
3 学期	5 研究のまとめ	・ポートフォリオの内容や研究の成果について自己評価・相互評価を行い改善点を洗い出すことで、研究の質を高めていきます。 ・研究の成果を論文やスライドにまとめます。また、口頭発表に向けた準備を行います。 ・統計的探究プロセスによる研究の見直しを図りながら成果をまとめることで、科学的探究力を身に付けていきます。
	6 研究成果報告会	
	7 コンテスト等への出品準備	

評価の観点と方法

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	・宇和島市や南予地方の地域課題について理解し、研究テーマの設定、仮説の検証が行われている（農業・水産業・防災等）。 ・レポートの内容が正確である。	・論拠をもとにして、レポートの内容が分かりやすくまとめられている。 ・適切なデータ処理をもとに、表やグラフを作成できる。	・講演会や研究に対し、事前学習、事後の振り返りを含め意欲的に取り組んでいる。 ・学んだことを生かし、仲間と協働しながら改善したり、深まりを持たせたりしようとしている。
評価方法	・小テスト ・ポートフォリオ評価（レポート） ・課題プリント（パフォーマンス評価）	・小テスト ・ポートフォリオ評価（レポート） ・課題プリント、発表会（パフォーマンス評価）	・実験、検証の取組状況 ・ポートフォリオ評価（レポート） ・課題プリント ・発表会（パフォーマンス評価）

（備考） 定期考査は実施しない。